

大津市企業局では、地震に強いガス管の整備を進めています！

1. 地震に強い材料を使ったガス管の採用

新しいガス管には、ガスの圧力や必要な管の太さに応じて、3種類のガス管を使っています。

- ポリエチレン被覆鋼管 … 中圧導管（圧力の高い、幹線となるガス管）に使用。
- ダクタイル鋳鉄管 … 低圧導管（圧力の低い、広い範囲へガスを送るガス管）のうち、管が太いもの（直径30 cm以上）に使用。
- ポリエチレン管 … 低圧導管のうち、管が細いもの（直径30 cm未満）に使用。

なかでも、ポリエチレン管は、「腐食しない」「柔軟性が高い」という特徴があり、「柔軟性の高さ」による地震に対する強さは、東日本大震災でも証明されています。

大津市企業局では、新たに布設するガス管は勿論、古くなった管（管が細い鋳鉄管や鋼管）の取り替えにポリエチレン管を使用し、「地震に強い」ガス管整備を進めています。



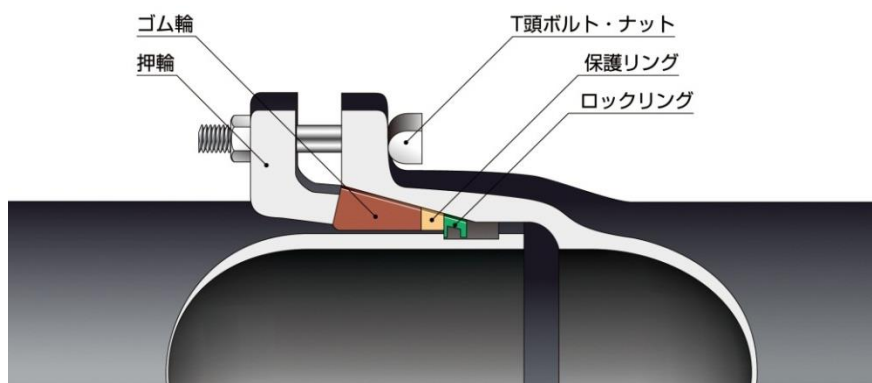
**ポリエチレン
管を強い力で
引っ張ると…**



2. 地震に強い継手（接続部）の採用

ダクタイル鋳鉄管は、管の材料自体は強靱なものですが、古いものは、1本1本の管をつなぐ継手（接続部）の構造が抜けやすいタイプのものが使われていました。

現在は、地震などの強い力により引っ張られるとロックがかかって抜けないように改良された継手（GMⅡ型）を採用しており、古いタイプの取り替えを順次進めています。



3. 工事の流れ

①試掘調査をします。

道路を掘って、地中の埋設物（上下水道・ガスパイプ、電気・通信線など）の位置を確認し、設計通りに工事が可能か調査します。



②道路を掘って、新しいガスパイプを布設します。

重機や人力で道路を掘削し、新しいガスパイプを布設した後、再び埋め戻して、仮の舗装復旧を行います。



③ガスを新しい管に開通させます。

新しい管に漏れがないかテストし、ガスを開通させます。
古い管の取り替え工事の場合は、その後、古い管を撤去します。



④道路舗装の本復旧工事を行います。

埋め戻した部分の状態が安定するまでの期間を置いた後、舗装業者により施工前の道路状態に復旧します。



② ガスパイプの布設状況



④ 道路舗装の仮復旧状況